

(令和5年度) 保育者の自己評価結果を踏まえた園全体の評価について

令和5年度の保育者の自己評価を踏まえて、各質問項目ごとに園としての全体評価を行ないました。今回の評価をもとに保育の振り返りを行ないながら、職員一同今後の保育の質向上に努めていく所存です。

評価項目		回答別の割合			
		かなり できている	ほぼ できている	あまり できて いない	ほとんど できて いない
1	園の3つの保育目標を理解し、実践に活かしていますか。	0%	65%	35%	0%
園 評 価	当園では3つの保育目標として「心身の強い元気な子」「情緒豊かな明るい子」「想像し考え表現する子」を掲げております。6割強の職員は保育目標を理解し保育に活かしている反面、園の保育目標と日々の保育の結びつきを意識しづらい点もみられます。今後ミーティング等で改めて園の保育目標について共有できる機会を設けます。				
2	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して保育をしていますか。	12%	88%	0%	0%
園 評 価	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重した保育については、概ねできているという認識を持っております。近年保育所の不適切なかかわりが話題となっておりますが、今後も園内でこどもの人権等についての研修を重ね、日々、子どもたちとの関わりについて振り返りをしていきたいと思っております。				
3	園児自らが活動を選択できる機会が持てる保育を行なっていますか。	12%	71%	12%	6%
園 評 価	集団で行う活動においては「安全面」「園児一人一人の活動参加の平等性」の観点から、ある程度プログラム化されている面もあり、個々の園児がやりたい活動を自由に選択することが難しい点もあります。また園児の学年によっても保育の進め方は変わっていきます。しかし、すべて保育者主導の保育ではなく、子どもが意思決定できる機会を今後も保証していきたいと思っております。				
4	その日の子どもの様子や状況に応じて臨機応変な保育が行えていますか。	18%	71%	12%	0%
園 評 価	どのような活動を行うかを日々計画しながら保育を行っておりますが、その日の天候や子どもたちの気分などによって、計画通りの保育がすすめられないこともあり、戸惑う保育士が一定数いる結果となりました。今後それぞれの保育士が経験を重ねる中で、日々の状況に応じた保育が展開できるよう保育士間での情報共有もすすめてまいります。				
5	子ども同士のかかわりが持てるよう援助したり、子ども間のトラブル発生の場合も、発達や理解力に応じて保育士が間に入り、子ども自身が良し悪しを考えられるよう配慮していますか。	29%	59%	12%	0%
園 評 価	保育園の中では子ども同士が言い争いになったり、時には手が出てしまう場面になることがありますが、保育士が一方向的に良し悪しを決め、トラブルを収束させるのではなく、子ども自身が関わりの中で気づくことを大切にしたいと考えております。子ども同士の世界を見守りながら、集団の中で身につく育ちを今後も援助できればと思っております。				
6	身の回りのことを自分でするという意欲が持てるよう援助したり、できた時の達成感を味わえるように配慮していますか。	35%	59%	6%	0%
園 評 価	「子どもが意欲的に自分の身の回りのことをする」ことは、私たち保育者にとっても成長を感じられる嬉しい瞬間でもあります。今後も「ひとりでできた！」という達成感と、次のチャレンジへの意欲を上手に支えられる保育ができるようにします。				
7	子どもの発達や理解力、生活経験に合わせた「言葉遣い」で保育することを意識していますか。	13%	75%	13%	0%
園 評 価	子どもの人権に通じる部分でもありますが、どの子どもに対しても丁寧な言葉遣いで接すること意識して保育をしなくてはなりません。今一度子どもに対しての言葉遣いや言葉がけについて日々の保育を振り返り、子どもの立場を尊重した保育ができるよう努めてまいります。				

評価項目		かなり できている	ほぼ できている	あまり できて いない	ほとんど できて いない
8	園児が保育者に声をかけてきた時に、ちゃんと話を聞ける雰囲気を作っていますか。	19%	69%	13%	0%
園 評 価	声をかけられるタイミングによってはすぐに話を聞けない状況もあるかと思いますが、ひと段落したところで落ち着いて話が聞ける機会を確保することは子どもとの信頼関係を築くことにも繋がるため、今後もその点を意識できるよう努めます。				
9	子どもが怖がるような物事を示して行動を促したり、強要させるような保育とならないよう意識していますか。	12%	65%	24%	0%
園 評 価	子どもへ次の行動を促したりする際に、「早くしないと鬼さんがきちゃうかも」などや「〇〇しないと〇〇できないよ」などを保育の中で使ってしまうケースもあり、改めて子どもに対する言葉かけを職員間でも意識していきます。またケース検討などを行ないながら、具体的な場面でのどのような言葉かけがよいかなどの意見交換も行っています。				
10	行事やイベントについて「活動のねらい」を理解し、園児が主体的に参加できるよう配慮していますか。	13%	63%	13%	13%
園 評 価	園で毎年やっている行事にもそれぞれ子どもの育ちに対して「ねらい」をもって取り組めるよう、職員会議等で思いの共有を図ってまいります。また参加する子どもたちが「ただやらされている」といった状況にならぬよう、子ども自身が「やりたい」という意欲がもてる促しを今後も図っていきます。				
11	日々子どもの様子を記録にまとめ、振り返りを行なう中で子どもの成長や思いに合わせた活動案を計画できていますか。	7%	64%	29%	0%
園 評 価	日々の出来事を記録することで次の活動への手がかりを探っていくことは保育にとっても重要であると考えております。うまくできているという職員もいれば、そこに苦手意識を持つ職員も一部いるため、改めて日々の保育の振り返りができる機会を設けていき、活動案についても他の保育者の意見等も交えて計画ができる体制を整えていきます。				
12	園児の体調観察を行ない、定期的な換気や湿度・温度の調整を行なっていますか。	35%	65%	0%	0%
園 評 価	健康面での配慮は概ねできているという結果となりました。引き続き子どもたちの体調観察や、感染症予防等に努めてまいります。				
13	子どもの体調に応じ、食事量を調節したり、食べ残しや偏食に対しても強要することなく、食事を楽しむ中で無理なくバランスのとれた食習慣が身につくよう促せていますか。	41%	59%	0%	0%
園 評 価	栄養士を中心に、各年齢に応じた食事の進め方や実際の子どもたちの食事の様子なども情報を日々共有しております。食育として野菜作りや、スーパーでの買い物体験などを通じ、これからも色々な食べ物に興味をもち、食べることを楽しめる保育をすすめていきます。				
14	食物アレルギーのある園児に対して、メニューの工夫、食事の配膳や提供等を適切に行えていますか。	76%	24%	0%	0%
園 評 価	栄養士他調理職員による調理時の管理と、各保育室で普通食とアレルギー食を区別して提供できる体制を整えております。今後もアレルギーのお子様安心して食事を楽しめる環境を提供していきます。				
15	保育室内は子どもが安全に清潔に過ごせるよう常に整理整頓や清掃を心がけていますか。	35%	47%	18%	0%
園 評 価	子どもたちが過ごしやすいよう日々の整理整頓に努めております。ただ製作物などが増えていくにつれてその管理の方法や、収納方法の工夫は必要かと思っておりますので、今後も清掃や整理整頓を心がけていきます。				
16	園施設内の遊具や備品等の点検、危険箇所の検討など行い、それを保育者間で共有できていますか。	12%	59%	29%	0%
園 評 価	園施設内の危険箇所などはその都度検討を行ない、速やかに改善をするよう努めています。備品等においては現在の子どもの状況を見ながら必要に応じて使う備品を変更するなどの工夫も必要かと思っております。今以上に保育者間での情報共有を行ない、安全な保育が提供できるよう努めてまいります。				

評価項目		かなり できている	ほぼ できている	あまり できて いない	ほとんど できて いない
17	園生活の中で、自然や身近な事象に関心を持つことができるように、環境を工夫していますか。	0%	71%	29%	0%
園 評 価	園の周りは豊かな自然環境にあふれており、身近に自然を感じられる保育が提供できます。しかし自然保育に特化しているわけではなく、様々な体験を通じて子どもたちの可能性を最大限に引き出すこともねらいとしています。シーンに応じて自然環境を活かしたり、また日常の中で子どもたち自らが気付きを得られるような環境を工夫していきたいと思います。				
18	研修等で学んだ知識を、他の保育者とも共有し、実践に活かしていますか。	0%	65%	24%	12%
園 評 価	保育者個々人で受講した研修内容について、伝達のための機会が不十分であるように感じます。研修等で得た知識を実践に活かすためにも、単にレポートなどの書面だけではなく、実際のシーンでどのように活用できるかなどを他の保育者と検討することを意識できればと思います。				
19	日頃から保護者の方と園児についての情報共有を図り、信頼関係を築けるよう努めていますか。	24%	65%	12%	0%
園 評 価	保護者の方と直接お話しできるのが送り迎え時の時間に限られてしまうため、もう少しゆっくりと時間が取れるのが理想ですが、連絡帳などのツールを活用したり、また特にお伝えしたいことや、お聞きしたいことなどは電話をさせていただくなどして、引き続き連携を密にさせていただきながら、保護者の皆様に信頼いただけるよう努めます。				
20	園での園児の状況と、家庭での生活状況をすり合わせながら、健康的な生活リズムが整っていきけるよう保護者の方との連携に努めていますか。	35%	47%	18%	0%
園 評 価	子どもたち自身も、家庭と保育園(集団での生活)で気持ちを切り替えて過ごしていると思いますので、一概に保育園と家庭との過ごし方に統一感が出てくるわけではないと思いますが、食事や睡眠、排泄などの生活リズムが乱れないように、ご家庭での状況も伺いながら、子どもの健康を第一に考えた生活を保護者の方と一緒に今後すすめられればと思います。				
21	怪我や急な体調不良等があった時に、保育者間で情報共有し、迅速に応急処置や保護者への連絡が行えていますか。	47%	53%	0%	0%
園 評 価	怪我や体調不良時の連絡においては、その都度保護者の方にお電話等でご連絡を差し上げています。今後も状況に応じて園での応急処置等も行えるよう、日頃から処置の方法や緊急時の対応等についても確認をしていきます。				
22	保育中に起きた事故やヒヤリとした事案に対して園全体で情報共有し、日々事故防止に向けた対策を行なっていますか。	6%	65%	29%	0%
園 評 価	保育中に起きた事故や、事故に至らずとも危険に感じた事項については、報告書にして職員間で回覧をしております。今後定例の職員会議において再度事故やヒヤリとした事案についての振り返りとその後の対策の徹底がなされているかを確認し、事故防止に努めてまいります。				
23	障がいや発達特性のある子どもの保育について理解を深め、インクルーシブ保育がすすめられるよう努めていますか。	18%	65%	18%	0%
園 評 価	当園では発達特性や障がいをもつお子様の保育を進めていく際に、発達相談の支援員の方に助言をいただいたり、また障害児保育の研修等も受講する中で、障害の有無で区別することなく、包括的に保育がすすめられるよう努めています。個別対応が必要な場面もありますが、今後も研修等に積極的に参加し、理解を深めていきたいと思っています。				
24	災害時に園児が取るべき行動を日頃から丁寧に説明したり、保育者間での役割分担について理解できていますか。	24%	47%	29%	0%
園 評 価	毎月避難訓練を実施することで実際の避難方法等については子どもも含め、理解が定着できている反面、災害時におけるそれぞれの役割については、今後も時間をかけて職員間で情報を共有していく必要があると感じております。防災意識を今後も高めていけるよう努めてまいります。				
25	地域の方との日頃からのあいさつや、交流活動時のコミュニケーションに努めていますか。	41%	53%	6%	0%
園 評 価	今後も近隣の方々へのあいさつや、地域の方々との交流活動を通じて、地域に開かれた保育園として運営できればと考えております。また子どもをお預かりする施設として防犯の面でも、地域の方々との連携も図り、安全な保育が提供できるよう努めてまいります。				